



平成 21 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 アジアパシフィックシステム総研 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 内山 毅
(JASDAQ コード番号：4727)
問 合 せ 先 上席執行役員 ゼネラルサポート本部長
井関 潔
電 話 0 3 - 3 9 8 5 - 4 3 1 1

平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 11 月 4 日付「平成 20 年 9 月期 決算短信」にて公表した、平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 9 月期 第 2 四半期累計期間業績予想の修正 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,234	189	138	75
今回修正予想 (B)	3,595	16	22	7
増減額 (B-A)	△639	△173	△116	△68
増減率 (%)	△15.1	△91.5	△84.1	△90.7
(ご参考) 平成 20 年 9 月期中間期実績	3,931	182	191	178

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,710	214	162	84
今回修正予想 (B)	3,302	121	129	1
増減額 (B-A)	△408	△93	△33	△83
増減率 (%)	△11.0	△43.5	△20.4	△98.8
(ご参考) 平成 20 年 9 月期中間期実績	3,728	215	225	215

2. 修正理由

(1) 連結業績予想

下記に記載いたしました個別業績予想の変更理由に加え、当初上期での計上を見込んでおりました一部子会社における受託開発案件につき、プロジェクトの進行状況を踏まえ、その検収が下期にズレ込んだこと等の理由により、売上高、利益とも当初予想を下回る見込みであります。

(2) 個別業績予想

当社の属するIT業界は、景況悪化懸念による企業の情報化投資抑制が高まっていることや、システム投資を牽引してきた金融機関係システムの構築需要の一巡感等の要因により厳しい状況下にあります。

このような状況下、当社においても企業のシステム投資意欲減退による受託開発案件の減少や主要顧客からの値引き要請等に加え、当社親会社キヤノン電子株式会社との企業提携・資本移動に係る手数料として117百万円を当第1四半期に特別損失計上したことから、売上高、利益とも当初予想を下回る見込みであります。

3. 通期業績の見通し

上記理由により平成21年9月期第2四半期累計期間業績予想につきましては修正いたしますが、足元の引き合い案件ならびに費用統制の進捗状況等を踏まえ、平成21年9月期の通期業績予想につきましては、平成20年11月4日付「平成20年9月期 決算短信」にて公表した数値より変更はありません。

(注記事項)

本資料に記載しております予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上